

夢をかなえよう！ … 地域の人材発掘と地域おこし …

夢を見、夢を実現していく！～ようやったなあ10年 その褒美としての次の10年
立神四季物語実効委員会

- 1 一昨年で10年が経過しました。今は12年目の活動に入っています。
1999年12月31日「20世紀最後の夕日を見る会」…しかし、大晦日は雨の天気予報
前倒して30日に開催した。素晴らしい夕日！！読売新聞からはお叱り。
その後、「日本夕日百選」へ西山慕情が丘として賢島とでエントリー。当選(市内では磯笛峠と2つ。
「21世紀に残したい日本の風景」へも応募し、確か全国4位。
2000年8月 立石浦で夢を乗せてボートレースが物語の始まり、あとは、
秋には、西山・慕情が丘で夕日コンサート … 慕情が丘でボジョレの始まり
「立神の食、音と光の祭典」
冬には、当初は冬遊び 3年後から「復活！立石祭」そして、厄落とし(餅まき)、餅つき等
春には、俳句でハイク … 桜への施肥 美化(ゴミ拾い) 絶叫大会 ゲーム大会 等
12年間、開催してきた。それで、2011年秋、ついに雨。雨の降らない伝説は崩れた。
しかし、よく続いたなあ！11年間。それは何？？
- 2 次の10年に入って2年目。
一昨年から立神花物語を石淵交差点で始めた。
しあわせに暮らすが大きなテーマ
あなたのしあわせはここから:「とある志摩市内の小さな幸せづくりの物語」の始まり。
それは、「豊かな自然と環境保全」を課題とする町づくり
具現化として「志摩里海学校」。志摩里海がっこ立神分校…志摩市、里海推進室と協働事業
- 3 英虞湾最奥部の立神エリアで。
新しい考えの新しい方向づけを。それは「しあわせの実感」
若者が生活できる。子どもたちが自慢できるふるさとづくりを。
それは、とりあえず、「学べる」、「楽しめる」、「稼げる」
- 4 里海学校の分校としたのは、広がってほしい！広めたい！モデル事業として活動開始、
差海体験 … 真珠づくり、牡蠣づくり、あおさづくり、海ぶどう見学 等々
里山体験 … 竹林整備、竹筏づくり、芋づくり(きんこ)、草木染め、蛍の里、しいたけづくり
文化コース … 料理教室、俳句教室、円空見学、座禅会、ひっぽろ神事、、立神慣行学 等
観光コース … 立神観光地づくり、朝日(甲賀等)と夕日見物をセット。立神を観光地に。
可能なら若者の仕事場の創造 → ビジネスファクトリー → 雇用の創出
これらは、ふるさとの景観の見直しと新しい視点づくり(次の10年の課題)
立神の大人たちが立神の子どもたちを育てる → 若者が帰りたいくなる町
- 5 2012年度は、志摩市との協働事業
志摩里海学校立神分校(里海がっこの感動物語)
① 真珠コース ② 竹コース ③ 牡蠣あおさコース ④ 芋きんこコース ⑤ 椎茸コース
立神は竹神、竹林整備。竹墨や木炭作り
夏休みに、①志摩里海セミナー4回 ②キッズ里海セミナー2回 ③特別体験(草木染め)
西山ラブストーリー 恋結び立神竹物語(里海七夕) 西山悲話 → 西山慕情=恋結びへ
話といえば立神四季物語の決着は…次の10年で決着 庄助と安べえは？
- 6 10年たった時でやめようと思った。でも辞められなかった。→幸せの町づくりをめざして。
夢を見、夢を実現していく集団 ~ ようやったなあ10年。次の10年への挑戦が始まった。